

10 「活動報告書」 評価のポイントと記入時の注意事項

総合型選抜〔併願〕（活動重視型）の志願者が提出する「活動報告書」は、次の3つの観点で評価しますので、記入にあたっては以下の内容をよく確認しておきましょう。

評価のポイント

- | | |
|---------------------------|--|
| ①活動に対する意欲・主体性 | 記載内容から、活動に対して意欲や主体性が見られるかどうかの評価のポイントになります。 |
| ②活動における
コミュニケーション力・協働性 | その活動において、目標達成、あるいは課題解決に向けて、外的資源（教師、友人、インターネット、本など）をどのように活用しながら取り組んだのかが、記載内容からわかるかどうかの評価のポイントになります。 |
| ③本学教育への適性・将来性 | 活動の経験から得た学びを大学での学修や将来目標の実現にどのように結び付けられるかについて、記載内容からわかるかどうかの評価のポイントになります。 |

記入時の注意事項

・評価対象となる活動とは

高等学校等の時代に力を入れて取り組んだ活動であれば、何でも対象です。高等学校等の校内や、地域活動や個人での活動など校外でのあらゆる活動が評価対象となります。例えば、授業で行った探究活動（課題研究）や、資格取得・検定合格のための取組、部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、各種大会・コンクールへの参加、留学・海外経験、メディア活動などです。志を持って活動したものであれば何でも構いません。

<質問事項>

- ・活動・取り組みの概要を書いてください。
- ・その活動に取り組んでいる理由、または取り組んでいた理由を書いてください。
- ・その活動に取り組むなかで、どのような課題または目標があり、その解決または達成に向けて、どのように工夫したのかを書いてください。
- ・活動を通して、どのような気づきが得られたのか、そしてその気づきを入学後の学修にどのようにつなげていきたいのかを書いてください。

- ・字数の制限は特にありませんが、おおむね1行に30～40字程度になるような文字の大きさと、枠内に収まるように記入してください。

<その他>

- ・「活動報告書」に記載した内容の根拠を示すための資料は、特に提出する必要はありません。ただし、活動の内容を具体的に示したい場合に、補足資料として、自身で作成した資料などを別紙として提出しても構いません。「活動報告書」を評価するうえでの参考として活用します。
- ・提出された書類は返却しませんので、コピーを取っておきましょう。
- ・記入に際しては黒のペンまたはボールペン（消せるボールペン不可）を使用し、自筆で記入してください。誤字などがあつた場合は、修正テープ等を利用しても構いません。